

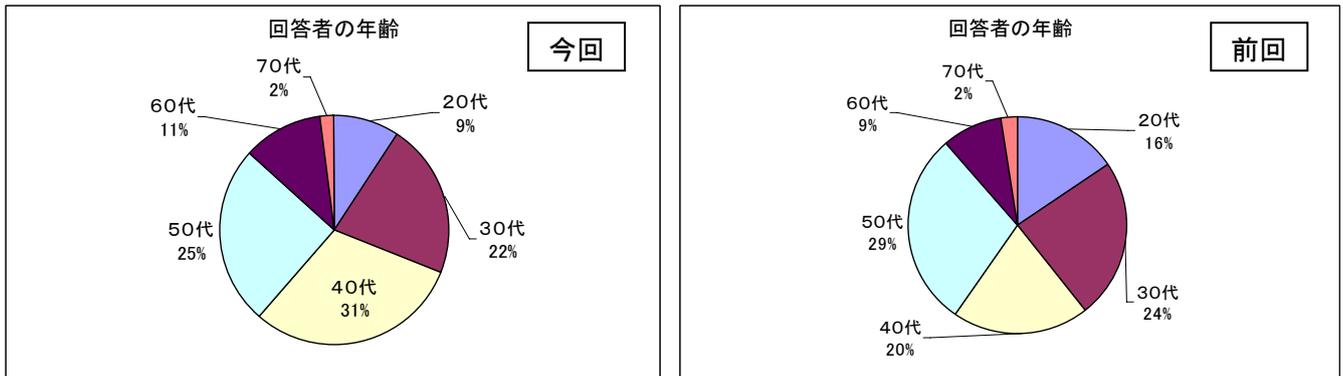
EST普及推進フォーラム アンケート集計結果

(今回総数 110 件)

(前回総数 127 件)

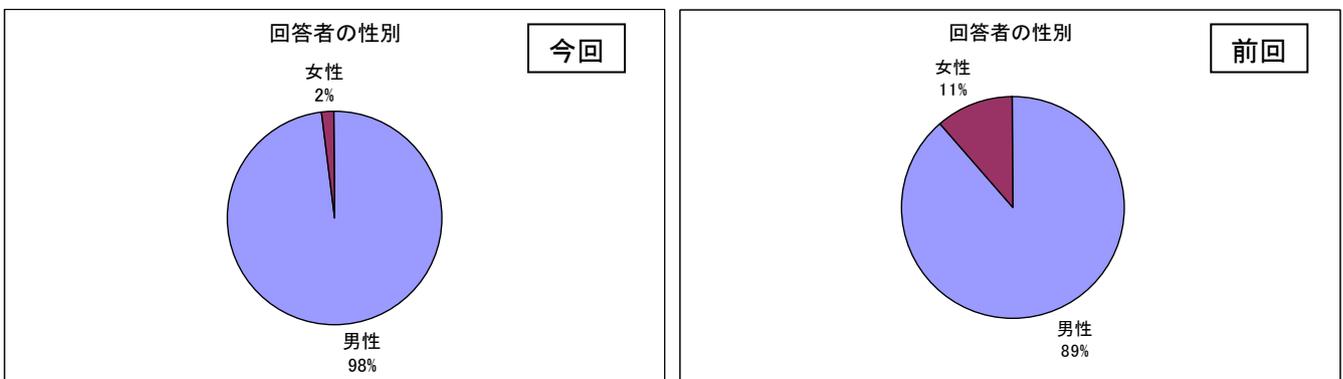
I あなたご自身についてお聞きします。

Q1 年齢



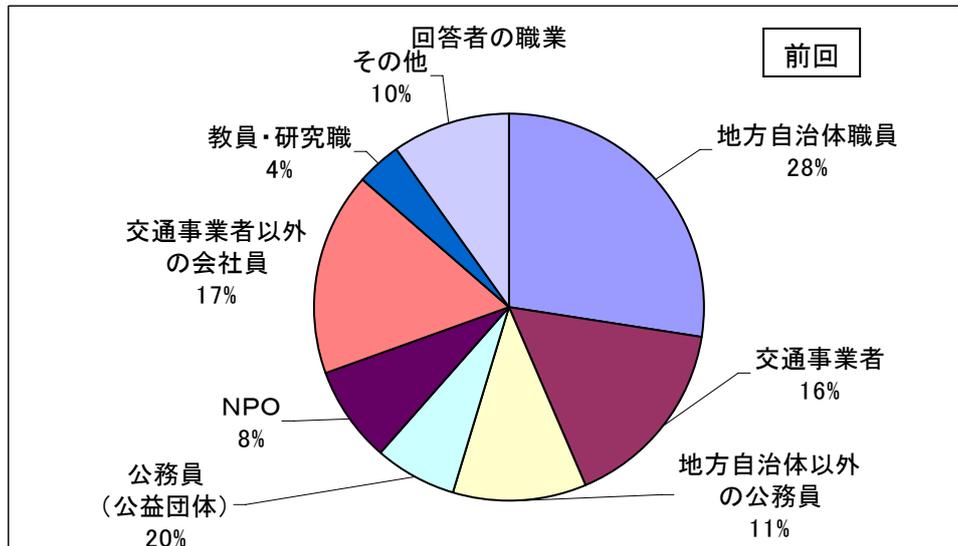
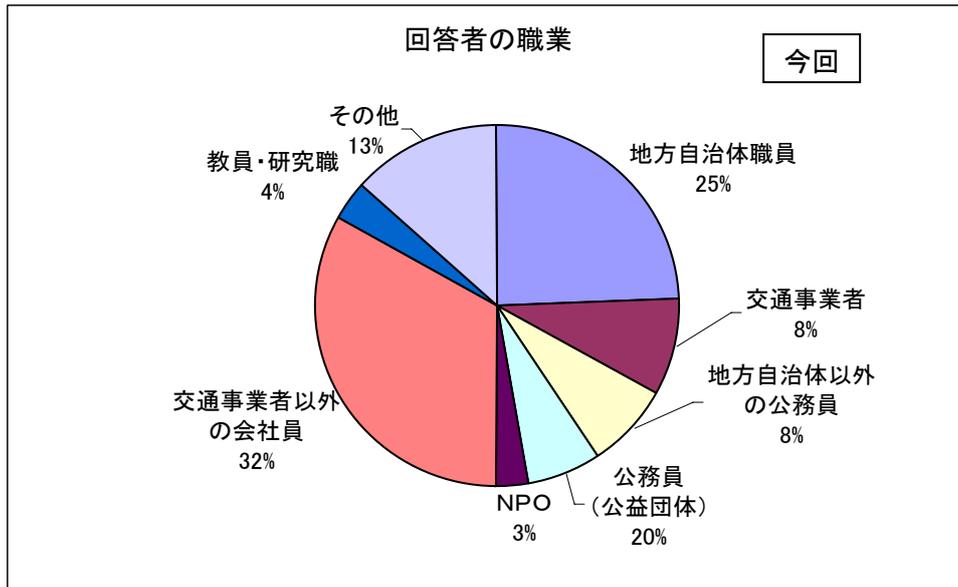
- ・ 回答者の年齢層としては、30～50代で8割近くを占めていた。
- ・ 前回のフォーラムと比較して、40代の割合が増えた反面、20代の割合は減った。

Q2 性別



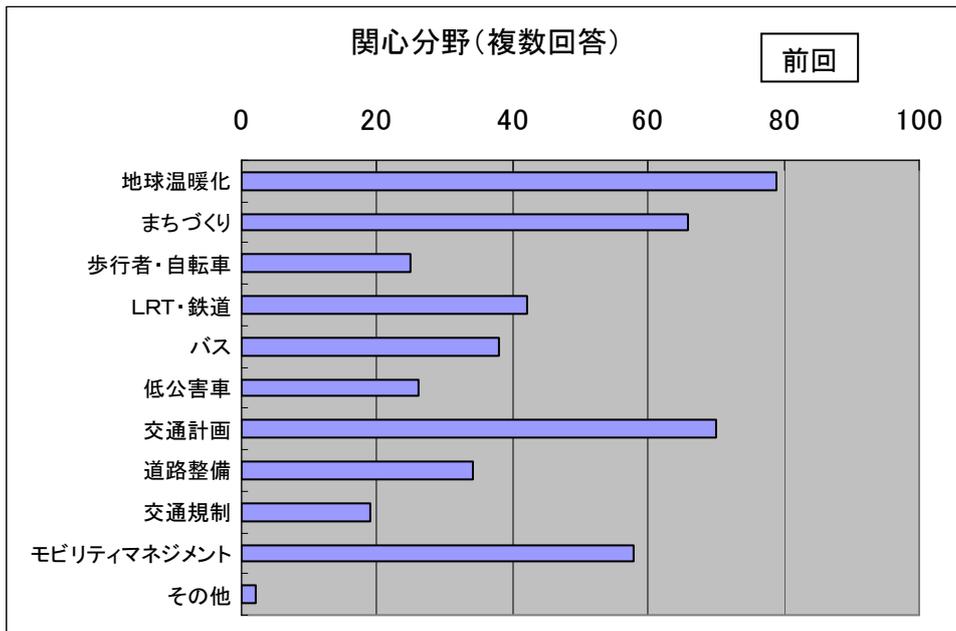
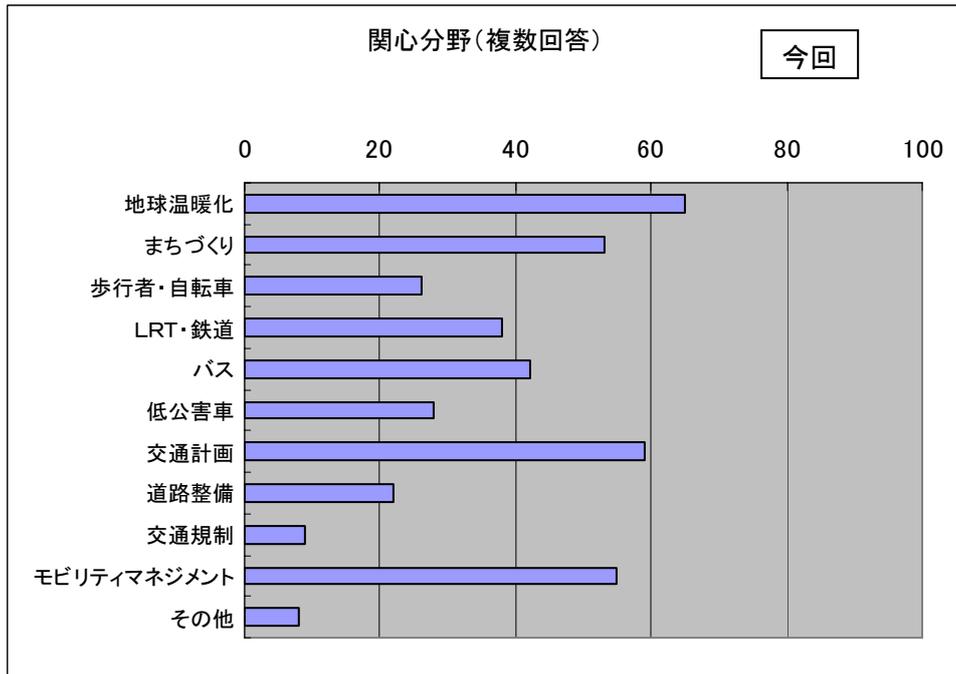
- ・ 当日の参加者、ならびにアンケート回答者は圧倒的に男性が多かった。
- ・ 回答者の女性の割合は前回以上に少なかった。

Q 3 職業



- ・ シンポジウムの集客対象にした「地方自治体職員」、「交通事業者」とともに、「交通事業者以外の会社員」の割合も多かった。
- ・ 前回と比較して、「交通事業者」の割合が半減し、「交通事業者以外の会社員」の割合が2倍近く増えた。

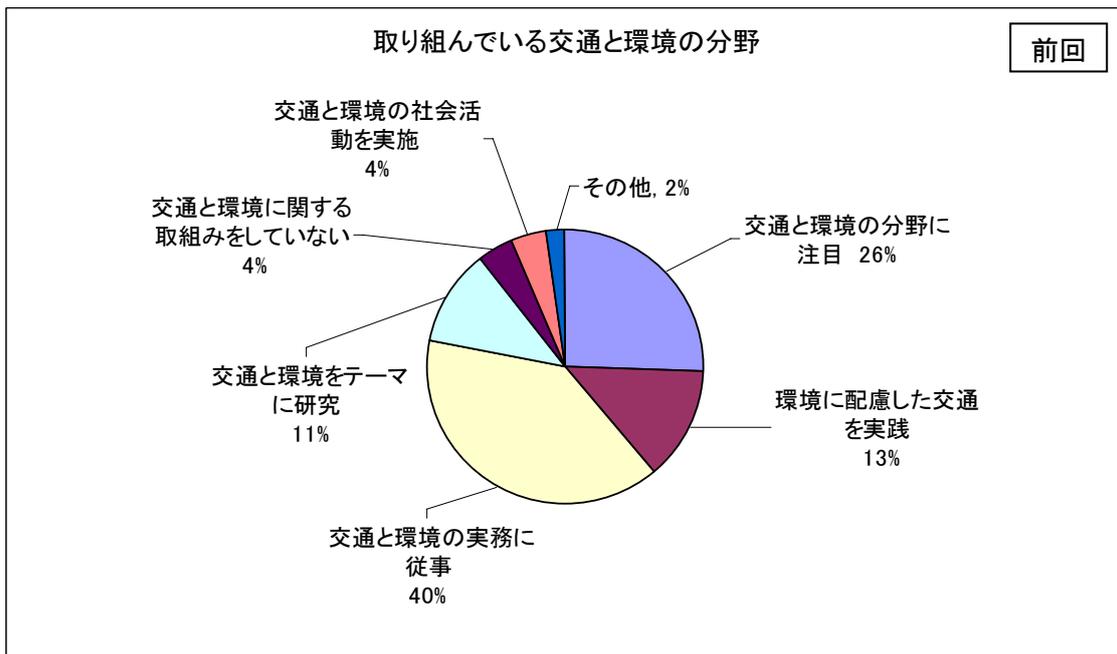
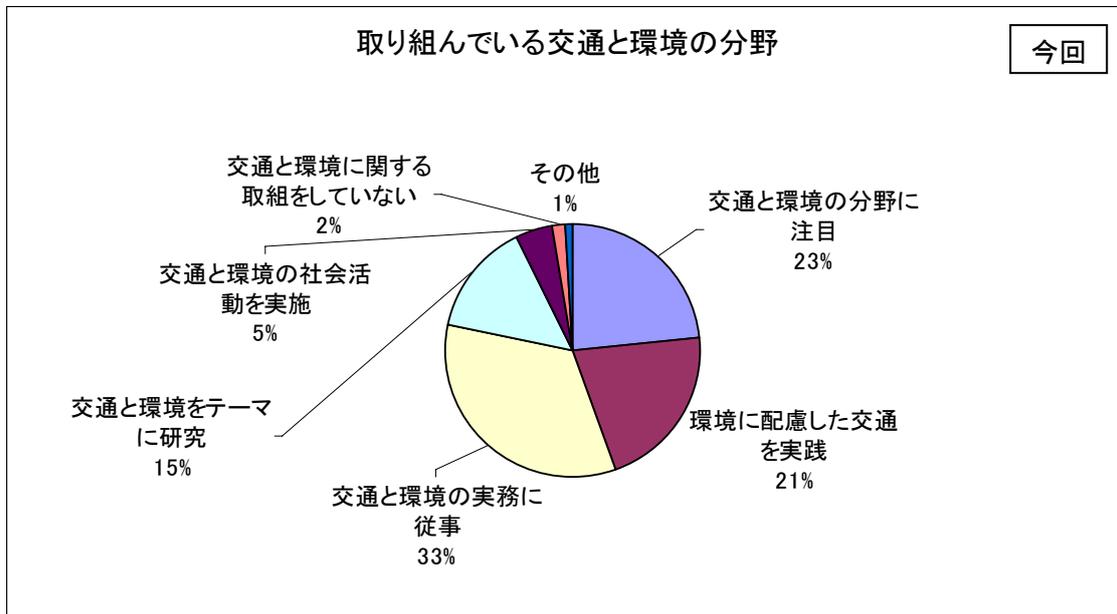
Q 4 関心分野



- ・ 回答者は、「地球温暖化」と共に、「まちづくり」、「交通計画」、「モビリティマネジメント」について関心が高かった。
- ・ この傾向は前回のフォーラムとほぼ同様であった。

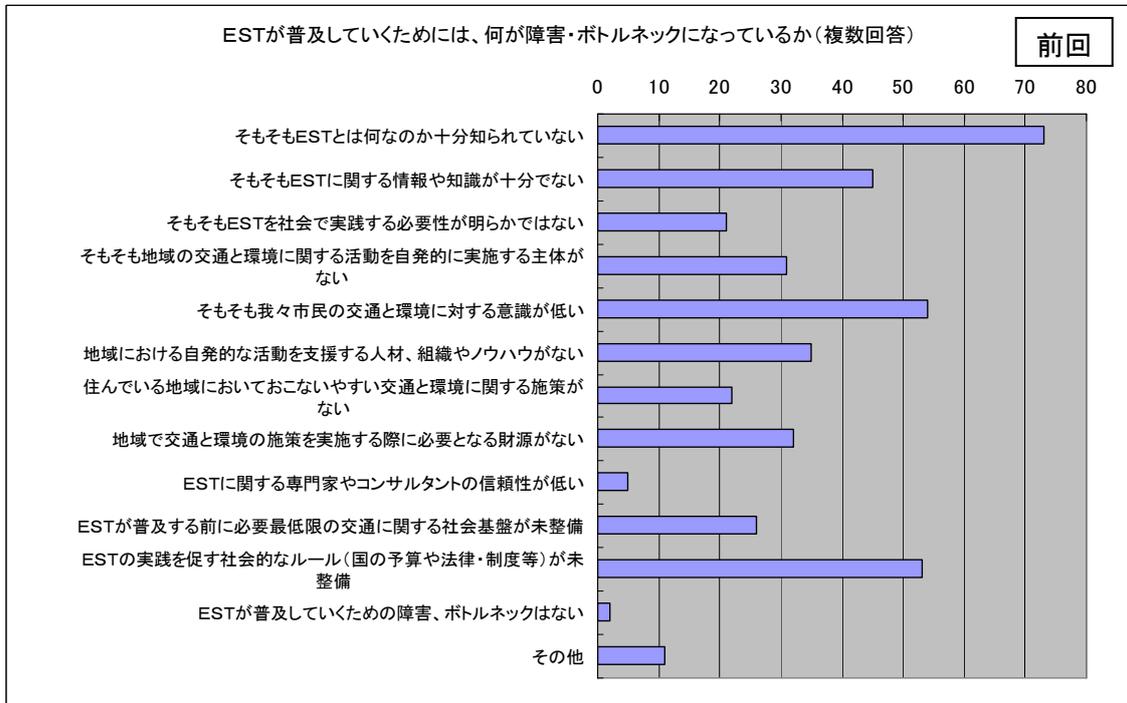
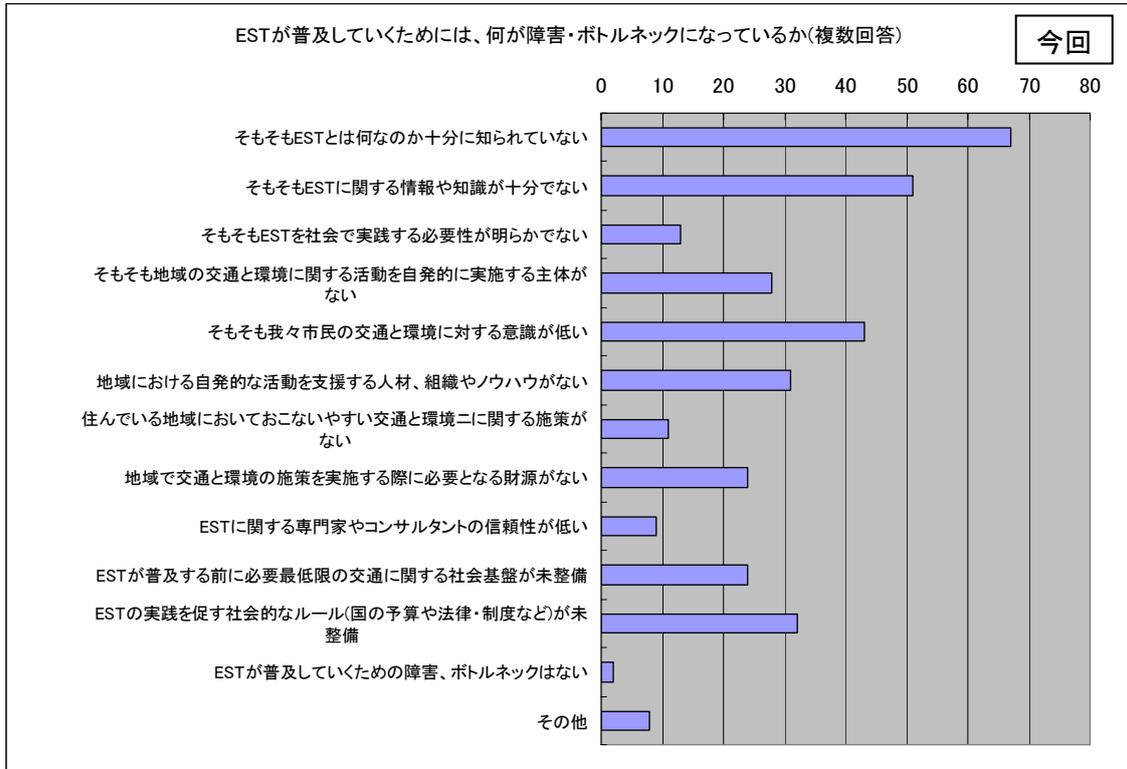
Ⅱ 本日のシンポジウムのテーマであるE S Tの普及推進についてお聞きします。

Q 1 現在、あなたは交通と環境の分野において、どのような取組みをしていますか？



- ・ 「交通と環境の実務に従事」している方を中心に、何らかの形で交通と環境に関わっている方々からの回答であった。
- ・ 前回セミナーと比較して、回答者の中で「環境に配慮した交通を実践」している方の割合が増えていた。

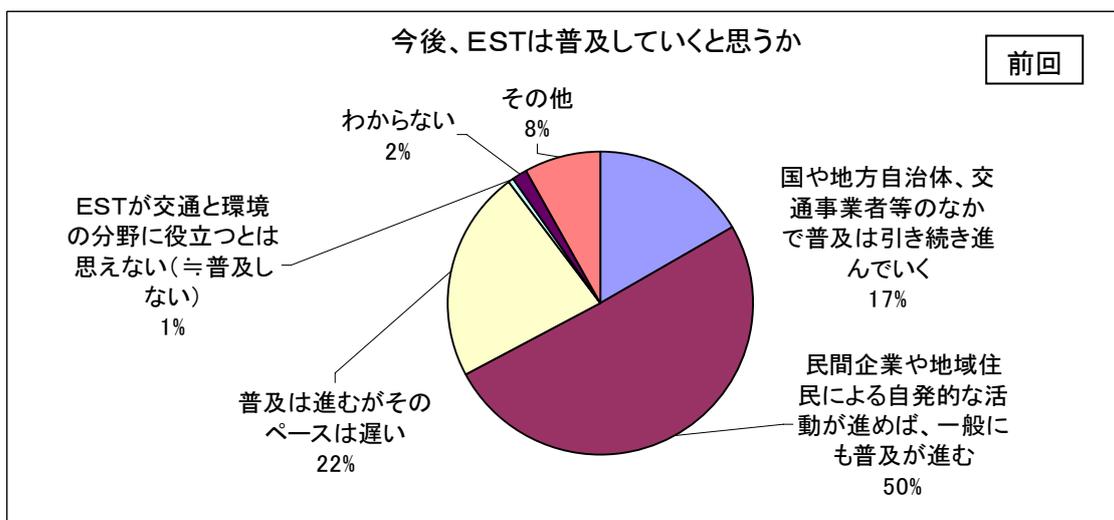
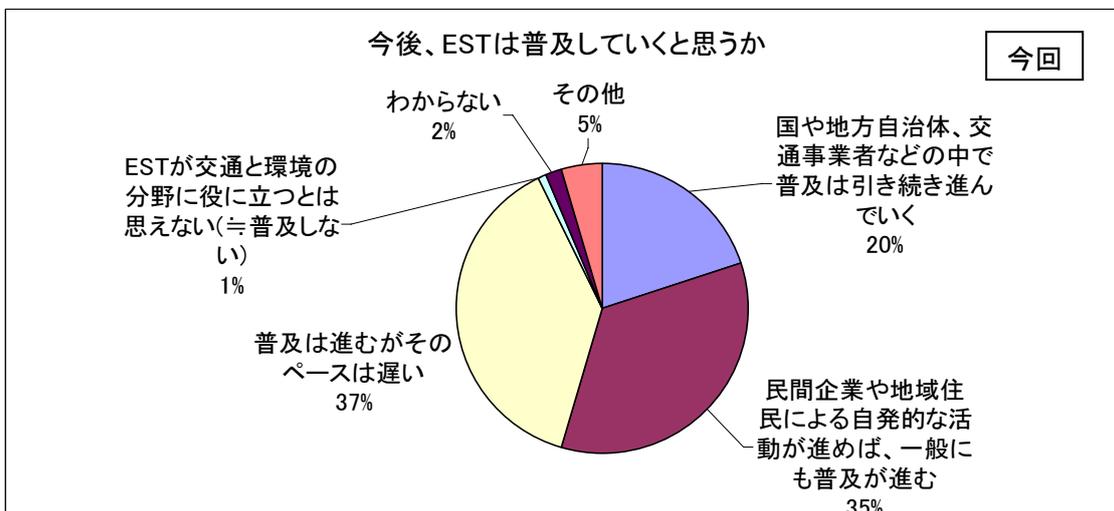
Q2 現在、EST が普及していくためには、何が障害、ボトルネックになっていると日頃お感じになりますか？



- ・ 全体的な傾向としては、前回フォーラムと同様であり、「そもそも EST とは何なのか十分知られていない」「そもそも EST に関する情報や知識が十分ではない」「そもそも我々市民の交通と環境に対する意識が低い」という 3 つの意見が多かった。

- ・ 回答者数の違いを考慮する必要はあるが、前回フォーラムから比較的大きな変化があったのは、「住んでいる地域においておこないやすい交通と環境に関する施策がない」「EST の実践を促す社会的なルール(国の予算や法律・制度など)が未整備」の2点で、いずれも減少傾向が見られた

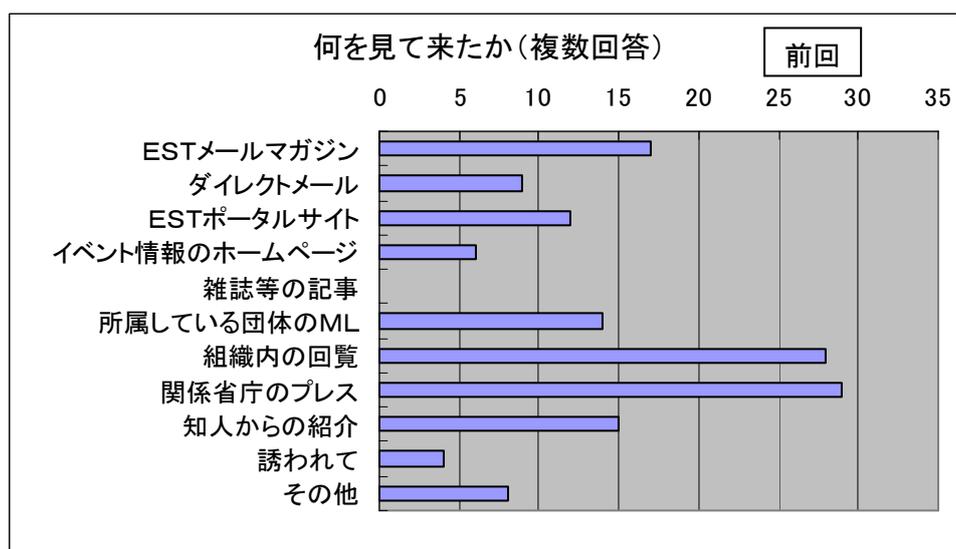
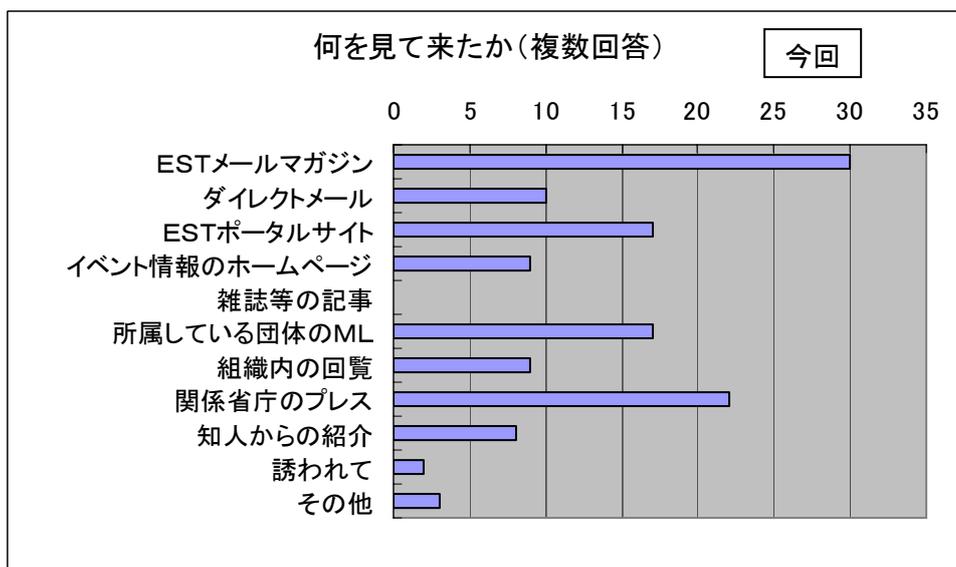
Q 3 今後、EST は普及していくと思いますか？



- ・ ほとんどの回答者は何らかの方法でESTの普及は進むと考えているが、その4割近くの方は「普及は進むがそのペースは遅い」と考えている。
- ・ 前回フォーラムと比較して、「民間企業や地域住民による自発的な活動が進めば一般にも普及が進む」と答えた回答者の割合が減少した一方、「普及は進むがそのペースは遅い」と答えた回答者の割合は大幅に増えた。

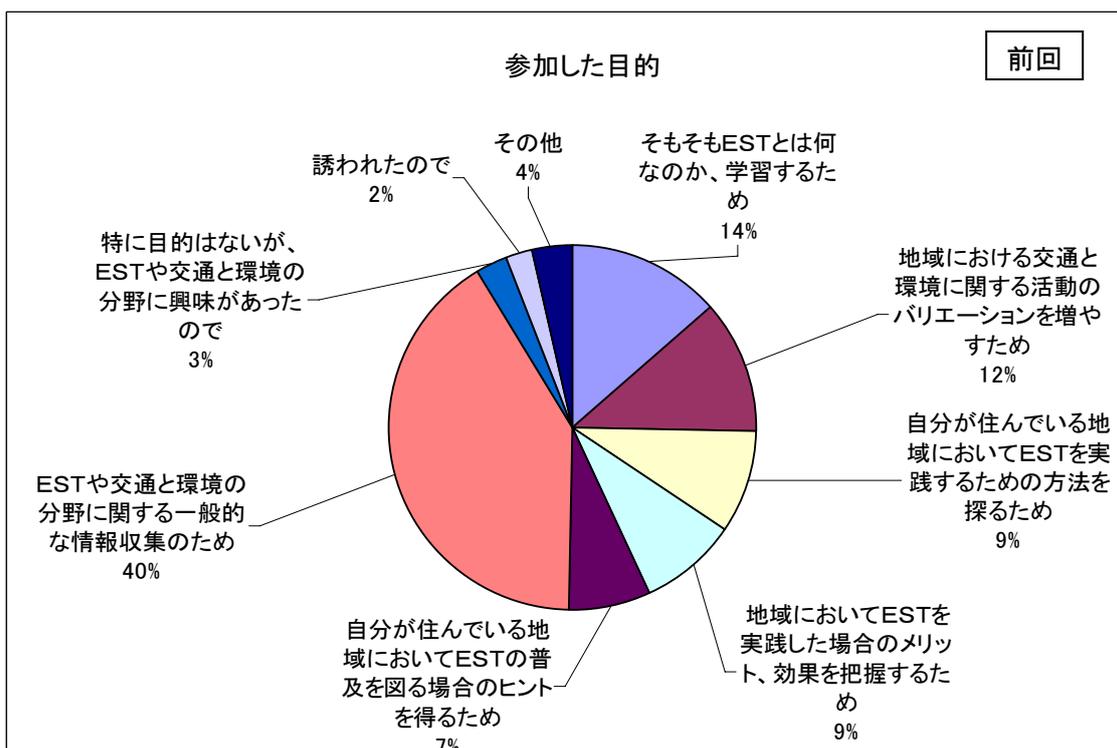
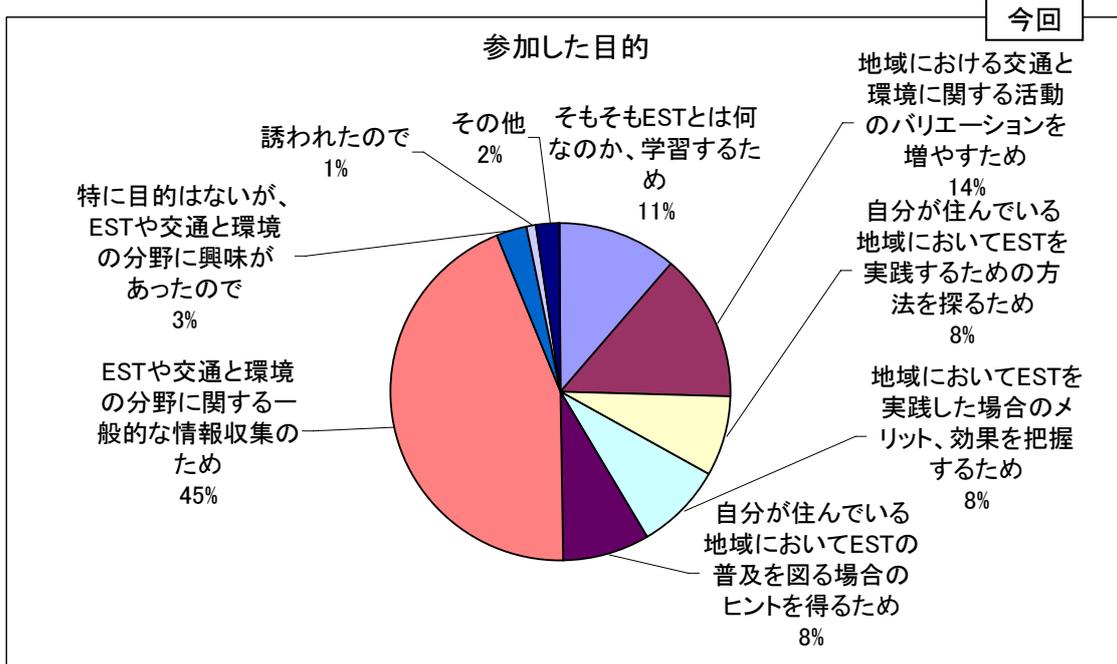
Ⅲ 本日のシンポジウムについてお聞きします。

Q 1 何を見て来られましたか？



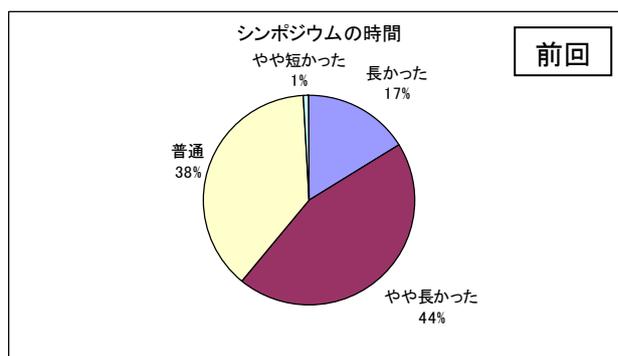
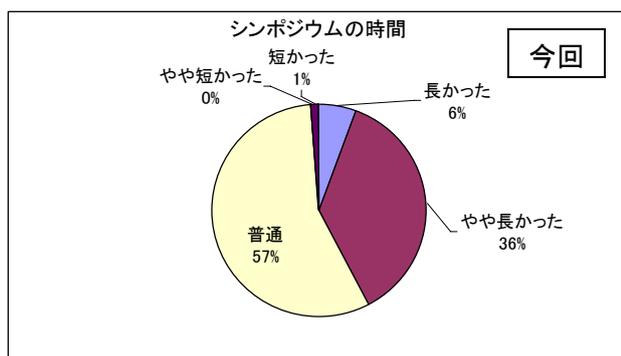
- ・ 「EST メールマガジン」と答えた回答者がもっとも多く、次に「関係省庁のプレス」、「EST ポータルサイト」「所属している団体のML」と続いた。
- ・ 前回のフォーラムと比較して、「組織内の回覧」と答えた回答者の割合は半分以下に減少した。逆に、「EST メールマガジン」と答えた回答者の割合は大幅に増加した。

Q 2 今日のシンポジウムに参加した一番の目的は何でしたか？



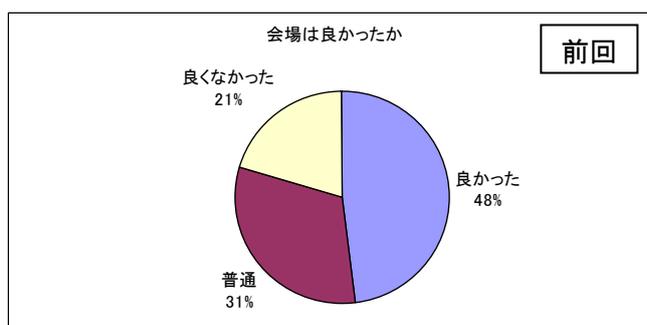
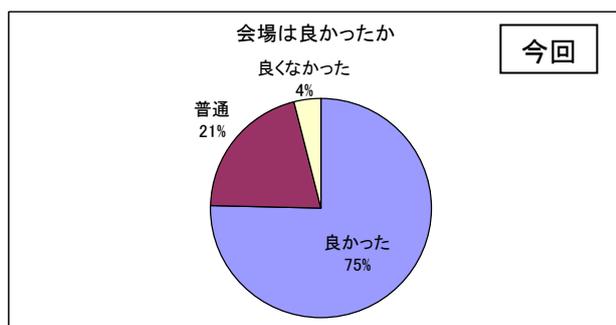
- ・ 参加者は何らかの目的意識を持って参加している方がほとんどであった。そのなかで、「ESTや交通と環境の分野に関する一般的な情報収集のため」や「そもそもESTとは何なのか学習するため」と答えた回答者が多かった。
- ・ 傾向としては、前回フォーラムとほぼ同様であった。

Q 3 今日のシンポジウムの時間の長さはいかがでしたか？



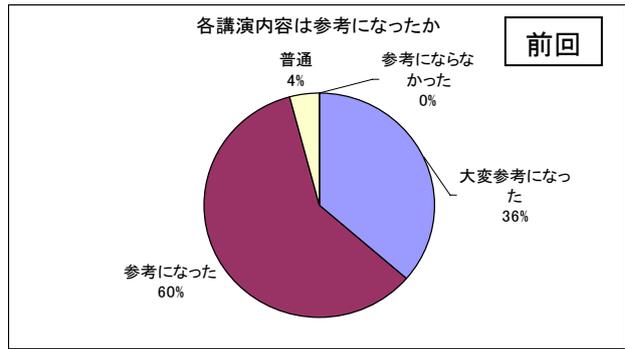
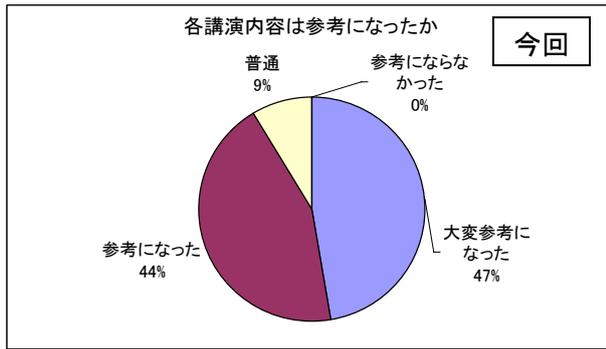
- ・ 今回のフォーラムでは、「普通」と答えた回答者が半数を超え、一番多かった。
- ・ 前回フォーラムと比較すると「長かった」「やや長かった」と答えた回答者の割合は減少した。

Q 4 会場はいかがでしたか？



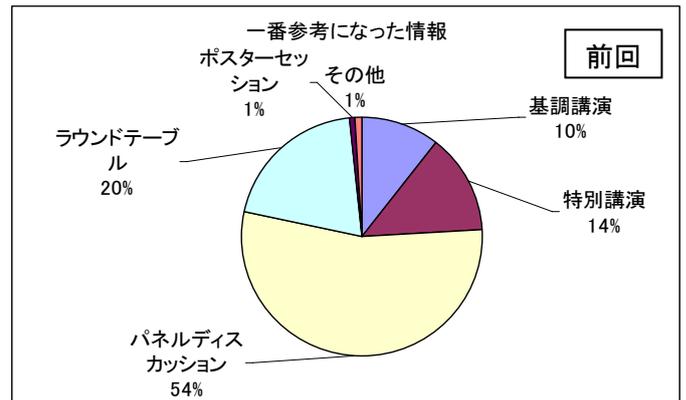
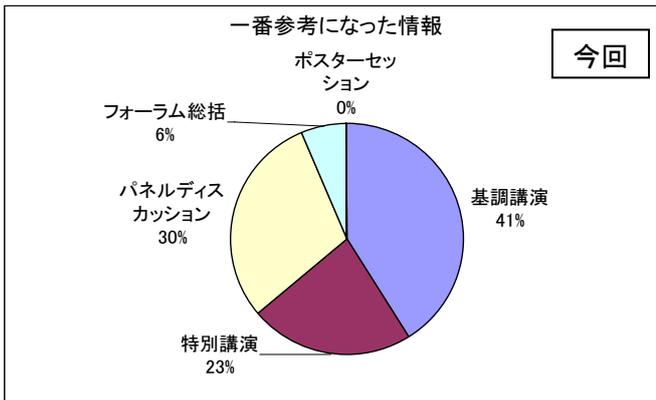
- ・ 会場に関しては、回答者の4分の3が良かったと答えた。
- ・ 良かったと答えた回答者の割合は、前回より大幅に増加した。

Q 5 各講演内容はいかがでしたか？



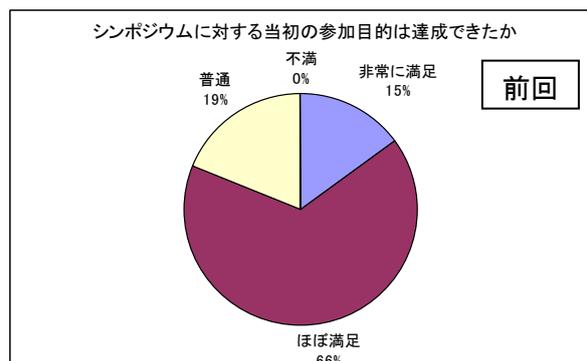
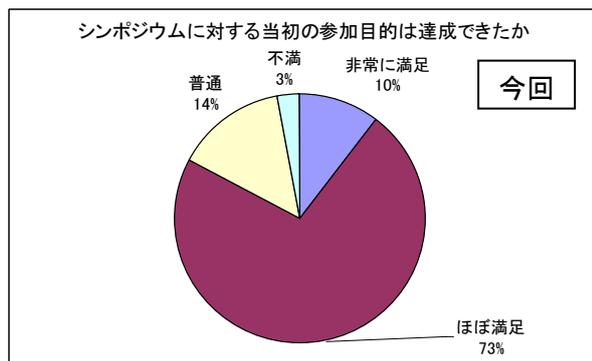
- ・ 回答者の9割以上の方が参考になったと回答し、参考にならなかったと回答した方はいなかった。
- ・ 前回フォーラムと比較して、「大変参考になった」と答えた方の割合が多かった。

Q 6 一番参考になった情報は何ですか？



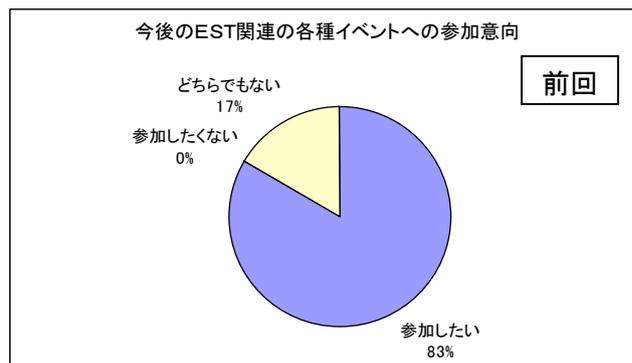
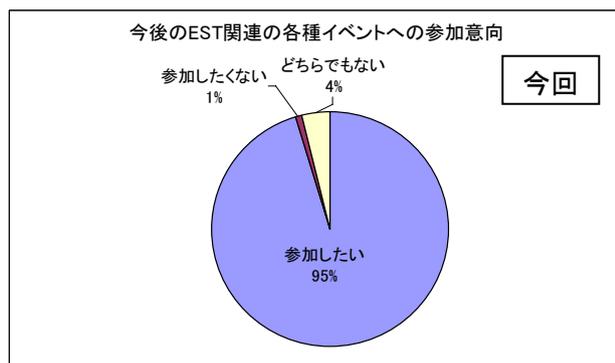
- ・ 一番参考になった情報は、「基調講演」と回答した方の割合が多く、「パネルディスカッション」「特別講演」と続いた。
- ・ 前回フォーラムと比較すると、「パネルディスカッション」と回答した方の割合は減少し、「基調講演」と回答した方の割合が大幅に増加した。

Q 7 総合的に、今日のシンポジウムに対する当初の参加目的は達成できましたか？



- ・ 回答者の8割以上の方が満足したと回答したが、不満と回答した方も若干名見られた。
- ・ この傾向は、前回フォーラムとほぼ同じであった。

Q 8 今後のEST関連の各種イベントへの参加意向についてはいかがですか？



- ・ 回答者の95%の方が今後もEST関連の各種イベントに参加したいと回答した。
- ・ 前回フォーラムと比較して、参加したいと回答した方の割合は増加した。

Q9 主な自由意見

<フォーラムの運営について>

- ・ パネルディスカッションとフォーラム総括を半日で行うのは長い。また、今まで培ったESTのノウハウの伝授などを行っていただきたい。
- ・ フォーラムを適宜（回数を多く）行っていただきたい。
- ・ フロアからの質疑の時間をきちんととっていただきたい。
- ・ 環境省の話を午前中に行ったほうが議論の流れがよいのではないか。また、交通の専門家だけではなく、温暖化やモデル開発の専門家を呼んでいただきたい。
- ・ 自動車と公共交通の対立構造で捉えるのではなく、一人ひとりの「モビリティ」向上に資する、かつ、sustainable な、まさに総力戦が大切だと改めて実感した。それを踏まえ、自動車側からのアプローチ（単体としてではなく、公共交通との組み合わせ、連携）、例えば、カーシェアリングなども題材に挙げて頂きたい。

<ESTモデル事業について>

- ・ 省庁間連携といいながら、地方にできる職員がいない。特に警察には、全く協力体制がなく、逆にブレーキをかけている。地元で運輸のセクションを変えるのはむずかしく、中央からのプッシュが欲しい。
- ・ 環境問題に関する施策を持続させるには、きちんと利益を生みビジネスとして成立するかどうかが必要であり、そういう話題は今回なかったように思う。つまり、「我慢」の上にESTが成り立つことは難しいと考える。
- ・ ESTモデル事業の取りまとめ（評価）の報告書を出す予定があれば、ぜひ拝見したい。

以上